

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	業務調整（長期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成2年11月30日から平成4年11月29日
3. 当初計画（TS1）と全体計画での位置づけ	プロジェクト全般にわたる業務の促進、予算管理、現地業務費及びローカルコスト負担事業並びに現地機材調達業務に係る予算執行業務等、プロジェクト活動に伴う事務、会計、庶務を取りまとめるとともにその計画的な執行を図る
4. 先方の希望内容	同 上
5. 派遣目的および具体的指導内容	プロジェクトの運営に当たり、一般的な業務の促進を図る為、プロジェクト活動に伴う全ての事務、会計、庶務を取りまとめる （具体的指導内容） 各種ローカルコスト負担事業（中堅技術者養成対策事業、及びPC地方統計分局設置、その他現地業務費臨時支給等）に係る予算請求、執行、管理、及び一般現地業務費の執行、管理、その他供与機材の現地調達を実施し、相手国と協議の上専門家派遣計画、研修員受入れ計画等を実施する
6. 必要とされる携行機材、額	CANNONワードプロセッサ：一式 （含、レーザープリンター） 総額：約900千円
7. その他備考	1991年度より実施予定の、JICA本部書式設定による四半期定期報告書等、本部の74-747（キャノン、ソフト）使用による業務遂行に必要となります。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	コンピュータ、プログラミング（短期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成3年10月から3ヵ月間
3. 当初計画（TS1）と全体計画での位置づけ	データベース利用促進に関する技術指導
4. 先方の希望内容	同 上
5. 派遣目的および具体的指導内容	ネットワーク及びマッピングシステム、各種統計分析パッケージの利用に関する技術指導
6. 必要とされる携行機材、額	
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	人口統計（短期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成3年8月から3ヵ月間
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置づけ	91年センサスによるマスターサンプルフレームに係る技術指導
4. 先方の希望内容	同 上
5. 派遣目的および具体的指導内容	マスターサンプルフレームを利用したの標本抽出技術の指導、労働力調査等への適用に係る指導
6. 必要とされる携行機材、額	
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	人口学（短期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成3年8月から3ヵ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置づけ	当初計画に基づき派遣を希望する
4. 先方の希望内容	人口予測手法及び生命表の作成
5. 派遣目的および具体的指導内容	1) 人口動態統計の整備と人口推計、出生力推計等について技術指導を行う
6. 必要とされる携行機材、額	
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	中堅技術者養成対策事業
2. 目的:	現在まで多数の統計局職員に対し、当該事業によりコンピュータに関する研修を実施し、プロジェクトの円滑な推進及び同局の人材育成に貢献してきたが、先の研修に於いては治安情勢の悪化や又平成2年度に於ける人口センサスに絡み特に地方職員の参加が不十分であった為、地方全体のレベルアップには未だ到達し得ていない。従って、更なる研修の必要性がある。
・ 必要性	長期に渡るスリランカの混迷を深めた社会情勢により、現在スリランカ経済は極めて劣悪な状況に陥っている。これを反映してスリランカ政府は先頃、閣議を開き、各省庁に対し超勤手当の不支給、既存プロジェクトに係る設備投入の凍結、並びに新規事業案件の凍結等の極めて厳しい緊縮財政措置を決定した。これにより
・ 緊急性	当人口情報プロジェクトに於いては今後暫くはJICA側によるスリランカ側ローカルコスト（スリランカ側の自動努力による一部負担義務）をも負担し得ない限り、実質的な研修の運営は非常に困難なものになる事が予想される。しかしながら、ス国側の実質的な自動努力として、基礎及び中級の実習コースに係る全ての経費が同国側により負担される事となっており、当負担分の全体に占める割合が昨年同様に約40%となっているところ同国側の自動努力は最大限に履行される事として認められるものと考え
・ 先方が負担出来ない理由	る。尚、平成2年度に於いては人口センサスを控えていたところ、当中堅技術者養成対策事業の研修回数を極力少なめに抑えてあった事から、翌年度（平成3年度）に於いて その分を取り戻す形として 平成3年度分としては当研修の回数を増やして行きたい意向であったが、人口センサスの実施予定日が1991年度後半に大きくずれ込む可能性が出てきたところ、当研修の実施回数の拡大が困難となり昨年度と同じ回数になっている。
・ 効果	
3. 計画・経費	詳細に関しては、別添の平成3年度・中堅技術者養成対策 事業計画書を参照下さい。 平成3年度・中堅技術者養成対策事業費 総計（1,920千円）

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>1) 供与機材のメンテナンス費負担 人口情報プロジェクトでは人口統計システム改善の為にPC、及びその他の周辺機器を本部及び地方支局に設置してきたが既に設置後1年以上を経過して修理期間が切れてきたものが多く、保守点検及び修理用に部品交換を必要とするものが出てきている。この様なメンテナンス費の負担は当然相手国が負担すべき事であるが、現状ではスリランカ側には予算上支出能力が無いのが実情である。円滑なプロジェクト運営の為に日本側として当面これらコンピュータ機器のメンテナンスに係る費用の予算計上が是非とも必要であり、プロジェクト存続中は勿論、プロジェクト終了後も一定期間を設けるなどして、その間のメンテナンス費の負担を援助する必要があると思われる。</p> <p>2) 実施予算と現地機材調達 単年度予算制度の為、実行予算の確定が遅れると現地で機材調達を年度内に完結する事が極めて困難となり、会計処理上不都合が生ずる事となる。スリランカの場合、殆どの業者は在庫を抱えておらず、顧客からの注文を受領後に於いて初めて輸入手続きを開始するケースが大半であるところ現状では納品の大遅れを誘発してしまう結果となり、年度内決済が実質上不可能という事態に陥る危険性がある。この点に関しては実行予算確定の早期通知と前渡資金受領前に於ける発注手続きの承認をお願いしたいところである。一方、スリランカ政府は外為銀行に対して、全ての輸入業者の信用状開設に依頼に対してはC.I.F. 価格の100%を取引銀行に供託する旨行政指導を行ったところ、輸入業者は当該供託資金として一定額の前払いを条件付ける等プロジェクト側としては資金の前渡を受けられない限りの機材調達の実質的活動に大きな障害が出始めているのが現状である。</p> <p>3) 人口学長期専門家の派遣 データベースの利用による人口推計、人口予測、派生推計等、人口学分野の業務推進を向こう2年間に実施していきたい意向である。従って人口学専門家を長期派遣の上、この分野の仕事を推進していく必要がある。</p> <p>4) 研修員受入れ制度（日本） 現在のところ人口情報プロジェクトへの割当枠が2名であるが、少なくともコンピュータ、人口学、統計、その他関連分野として、4名程度の年間枠を可能にして戴きたい。</p>

(4) エジプト

家族計画・母子保健

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1. 検診車による母子保健サービスの向上 2. IECによる母子保健家族計画の知識の普及及び広報活動 3. 医師の超音波診断技術の向上	1) 検診車による巡回診療 巡回診療サポートシステム作成 Daya (伝統産婆) トレーニング 助産婦トレーニング 母子保健・家族計画セミナー 保健衛生教育活動 地域・Daya研究			2) カイロNPCにおける編集技術の向上 IECスタッフへの指導(ビデオ中心) 母子保健・家族計画の教材作成 各セミナー、トレーニング等での活動 プロジェクトの普及・広報活動			3) 超音波診断技術を向上させるため初歩から高度技術まで3コースに分けてセミナーを開催していく。 レベル(Ⅰ) 概論入門 レベル(Ⅱ) 演習臨床 レベル(Ⅲ) 高度知識技術					
専門家の派遣		評価チーム											
専門家の派遣	(1) チームリーダー(代行) 兼 母子保健(丹野)	90/1	—————→										92/9
	(2) IEC 専門家(横関)	90/3	—————→										92/9
	(3) 調整員 (野田)	89/12	—————→										92/9
	(4) 産婦人科医師	91/6迄											
短期専門家(分野、氏名等)	(1) 母子保健専門家 (2) 母子保健専門家 (3) ビデオ専門家 (4) ビデオ専門家 (5) 医療機器保守管理 (6) (7)	—————											
研修員	(分野、氏名等) (1) 小児科医 (Dr. HAZAN) (2) 小児科医 (Dr. SHAHER) (3) 小児科医 (Dr. TAWHIDA) (4) 看護婦	←————— ←————— ←—————											
供与機材		申請書提出 90年度分到着 到着希望											
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) セミナー開催費 (2) 広報活動費 (3) 基盤整備費	申請書提出 事業実施 申請書提出 申請書提出 事業実施											

項目	専門家のチームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣		調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 評価調査団 理由: 1992年9月にプロジェクト終了予定であり、延長可否決定 (おそれ、1992年2月迄に調査団の派遣を願いたい。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと	
(2) 短期専門家派遣	5名	分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと	
		① 看護(母子保健)		5~7	3ヶ月			
		② 看護(母子保健)		10~12	3ヶ月			
		③ ビデオ教材作成		6~8	3ヶ月			
		④ ビデオ教材作成		10~12	3ヶ月			
		⑤ 医療機器保守管理						
		⑥						
		⑦						
(3) 供与機材	50,000 千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	6,800 千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと						
		① 丹野かほる	金額 100万	時期 4月	④ 産婦人科医師	金額 100万	時期 6月	
		② 横関祐見子	金額 100万	時期 6月	⑤ 医療機器保守管理	金額 50万	時期 8月	
		③ 野田 修治	金額 50万	時期 7月	⑥			
		④ 母子保健専門家	金額 60万	時期 6月	⑦			
		⑤ 母子保健専門家	金額 60万	時期 10月	⑧			
		⑥ ビデオ専門家	金額 80万	時期 6月	⑨			
		⑦ ビデオ専門家	金額 80万	時期 10月				

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 丹野 かほる	母子保健・家族計画	'90.1-92.9		
	② 横関 祐見子	I E C	'90.3-92.9		
	③ 野田 修 治	業務調整	'89.12-92.9		
	④ (水谷 哲 也)	産婦人科			
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望					備考
	計画	内容				
(6) カウンターパート受入	4名を希望 早期通報分 3名 年度末通報分 1名	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！) カウンターパートの1名は、90年度分の繰り越しである。
		① Dr. HAZAM	小児科医	4～5月	3ヶ月	
		② Dr. SHAHER	小児科医	4～5月	3ヶ月	
		③ Dr. TAWHIDA	小児科医	4～5月	6ヶ月	
		④	看護婦	10～12月	3ヶ月	
		⑤				
		⑥				
		⑦				
		⑧				
		⑨				
		⑩				

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	2610 千円を希望	270000 円	専門家出張旅費 および 車輛維持費 母子保健家族計画知識普及活動費 超音波診断技術セミナー、セミナー-母子保健家族計画セミナー、ダイヤ教育	
②技術普及広報費	2000 千円を希望	920000 円		
③現地セミナー開催費	6820 千円を希望	2200000 円		
④技術交換費	1040 千円を希望	円	近隣国における人口受胎計画プロジェクトの視察、意見及び技術交換	
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	20000 千円を希望	0 円	検診車保護クリニックの拡充及び保護機能施設の設立	
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				
国内研修費用	カウンターパートを首都カイロの施設機関を使って研修させるような制度			

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		家族計画・母子保健プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
			超音波診断機 他	2
		ベースクリニック機材		8220
		看護教材		8860
		IEC機材		10000
		医療器具		5000
		輸送費		6310
		合計		48390
供与の目的	<p>検診車搭載用超音波診断機は、当初計画にあり現在1台には搭載されているが残り1台には、搭載されていないために投入必要あり</p> <p>検診車フォローのためベースクリニックを整備する必要がある</p> <p>教材を充実させ人材育成のためのトレーニングを活発化する</p> <p>IEC機材追加整備</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要点 ・技術移転上の役割 ・緊急性 				
現地調達可否	(1) 可(一部機器は可能) (2) 否			
A470-A取付状況	(1) 作成中 (2) 3年3月取付予定			

プロジェクト名： 家族計画・母子保健プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	アロカSSD-500	1000 万円	超音波診断	有	可	220V	
2	アトムET-8300	140 万円	検診台	有	否	220V電 動式	
3	アトムN-72	82万円	診療台	有	否		
4	アトム胎児監視装置 115スタンド付き	516 万円	妊婦検診胎児の 監視観察	有	否	220V	
5	母子保健教育機材	800 万円	研修セミナー機材	有	否		
6	体温計、血圧計 など看護器具	70万円	検診器具	有	否		
7	IECビデオ機材	1000 万円	視聴覚教材作成 機材	有	否	220V	
8	ドップラー胎児心音 検出機	100 万円	妊婦検診用	有	否		
9	産婦人科器具	500万円	診察器具	有	否		
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専門家派遣計画表

1. 指導科目	チームリーダー代行兼母子保健
2. 派遣期間・時期	1990 1 10 からプロジェクト終了まで
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	チームリーダーの派遣が要請されているが現在母子保健専門家が代行している。
4. 先方の希望内容	プロジェクトチームリーダー
5. 派遣目的および具体的指導内容	日本チームの意見方針の取りまとめ、及びエジプト側、JICAとの協議調整 プロジェクト運営実行管理等々である。 兼 母子保健
6. 必要とされる携行機材・額	母子保健に関する機材 及び 事務機器 100万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	IEC専門家
2. 派遣期間・時期	1990 3 27 からプロジェクト終了まで
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	プロジェクト期間を通じての派遣 IECによる母子保健家族計画知識を展開していくことがR/Dにて提示されている。
4. 先方の希望内容	IECによる普及活動について 計画実行モニタリング、評価
5. 派遣目的および具体的指導内容	IECによる普及活動方法指導 調査計画実行 計画、教育機材の設立、教育材料の作成、 実行、モニタリングの仕方指導 評価、 など
6. 必要とされる携行機材・額	視聴覚機材など100万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	調整員
2. 派遣期間・時期	1989 12 27からプロジェクト終了まで
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	プロジェクト終了まで派遣予定されている。
4. 先方の希望内容	調整業務
5. 派遣目的および具体的指導内容	プロジェクトチーム、JICA、NPC など関係機関との調整 事務手続処理 公金の管理等
6. 必要とされる携行機材・額	事務機器50万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	産婦人科医師
2. 派遣期間・時期	プロジェクト期間中
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画に医師の派遣が計画されている
4. 先方の希望内容	妊婦検診について演習指導 および超音波 診断技術の指導など
5. 派遣目的および具体的指導内容	超音波診断技術指導 検診車によるデモンストレーション ドクターのセミナー指導助言 産婦人科医師技術指導など
6. 必要とされる携行機材・額	医療機材 100万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	I E C 専 門 家
2. 派遣期間・時期	短期3カ月(2回)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	母子保健家族計画知識普及のためのビデオ教材作成
4. 先方の希望内容	撮影編集技術実践指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	ナガハマデーでのプロジェクト進行状況の記録撮影指導 カイロNPC I E C 部門での編集及び指導
6. 必要とされる携行機材・額	視聴覚機材など(80万×2=160万円)
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	看護
2. 派遣期間・時期	短期3カ月(2回5-9月と10-12月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	検診車による巡回診療の指導 及び 看護人材育成のための教育指導
4. 先方の希望内容	母子保健に関する指導助言 巡回診療について看護サイドの指導助言
5. 派遣目的および具体的指導内容	巡回診療時の妊産婦保健管理指導 ダイヤ(伝統的な産婆)のトレーニングの計画実施 看護技術移転のための教育プログラムの実施 Midwifery コースの計画実施等指導
6. 必要とされる携行機材・額	保健指導に必要な機材、教育機材等 60万×2=120万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	医療器材保守管理
2. 派遣期間・時期	短期2-4週間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画にははいていないが供与器材の円滑効果的活用のため加えたい
4. 先方の希望内容	円滑効果的器材の使用についてエンジニアの分野からの指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	供与された器材の保守管理指導 エンジニアへの指導助言
6. 必要とされる携行器材・額	部品など50万円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画表

1. 事業名	臨時現地業務費
2. 目的:	<p>専門家活動補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性 スムースなプロジェクト運営をおこなうため ・緊急性 プロジェクト活動がカイロとナガハマデーにまたがっているため専門家の域内旅費として年度早期に対処必要がある ・先方が負担できない理由 ・効果 短いプロジェクト期間中に効果的に専門家の活動実施することができる
3. 計画・経費	<p>出張回数48回/年 日数240日 192泊</p> <p>旅費LE370x48=17760LE</p> <p>日当LE35x240=8400LE</p> <p>宿泊LE100x192=19200LE</p> <p>その他交通費</p> <p>プロジェクト車輛費用 LE5250</p> <p>1台分検診車稼働費用 LE1650</p> <p style="text-align: right;">総計 LE52260</p> <p style="text-align: right;">総計 (261万円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術普及広報活動費
2. 目的:	母子保健家族計画の知識普及およびプロジェクト活動を紹介しスムーズなプロジェクトを運営していくため。
・必要性	ポスター、カレンダーなど常時情報を与えて確実な知識とし広く村落民を啓蒙するため、またプロジェクトを紹介し日本の援助を理解してもらう。
・緊急性	プロジェクト期間が短いため早期に作成活用していく必要がある。
・先方が負担できない理由	検診車の運営費に予算を取られて広報費までは、予算計上され得ていない。
・効果	常時情報を与え続けるような方法で知らずに確実な知識として定着させることができると考えられる。
3. 計画・経費	1) ポスター 5LE×100部×2種 2) フリップチャート 30LE×100 3) カレンダー10LE×3000 4) パンフレット 2LE×500 5) プロジェクトグッズ 計5000LE 総計40000LE 総計(200万円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	セミナー開催費 (超音波診断技術セミナー)
2. 目的:	エジプト国内医師の妊婦検診技術の向上
・必要性	超音波診断技術を高め妊産婦の安全で正しい産前産後ケアに寄与する
・緊急性	90年度実施計画を引き続き91年度でも実施していきたいので早期に対応願いたい
・先方が負担できない理由	現況では、部分負担しかできない、全額負担は、NPC活動のうち予算縮小される部分が、そのやりくりで苦慮している。
・効果	エジプト国内医師の妊婦検診レベルを引き上げることができ、このことは、パイロットプロジェクトにおいても大きな波及効果をもたらす。
3. 計画・経費	コース(I) 4回/月 年間48回 LE 800×48=LE38400 コース(II) 1回/2月 年間6回 LE 8600×6=LE51600 コース(III) 1回/3月 年間4回 LE 4600×4=LE18400 5%価格上昇分見込み 総合計 LE113820 総計(569万円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術交換費
2. 目的:	近隣諸国の同種プロジェクトを視察し意見技術を交換してより効果的なプロジェクトの運営を目指す
・必要性	
・緊急性	短期間にパイロットプロジェクトを確立するため
・先方が負担できない理由	同種で既存のプロジェクトから早期に効果的情報を得て活用する必要がある。
・効果	JICAのプロジェクトの中には、同種ですでにノウハウを持ったところがあり、それらの知識経験を生かし活用していくことは、時間的にも短縮でき、またより効果的な方法を探し出せる。同様な問題点なども考えられ参考にできることが多いと期待される。
3. 計画・経費	<p>(例 ケニア人口教育促進プロジェクト)</p> <p>専門家3名カウンターパート2名</p> <p>期間 4泊5日</p> <p>旅費 1020\$×5名 =5100\$</p> <p>宿泊 120\$×5名×4日=2400\$</p> <p>域内交通費 = 500\$</p> <p>総計=8000\$</p> <p>総計(104万円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト基盤整備費
2. 目的:	検診車による妊婦検診のフォローする援護クリニックの拡充および普及活動を援助するセンターを設立しプロジェクト活動を活発化する。
・必要性	
・緊急性	検診活動を補佐するための援助機能を高め、より充実した、しかも広範囲な活動をしていくために必要である。
・先方が負担できない理由	プロジェクト中期における活動としたいため、早急に取り組みたい。
・効果	現在の予算状況では検診車の運営費に手いっぱいである。負担可能な部分について相手方に交渉をしていく。 検診後の患者のフォローがよりいきとどいたものとなる。
3. 計画・経費	<p>1) 援護クリニックの拡充 500万</p> <p>2) 援助機能施設:</p> <p>ワークショップルーム 200万</p> <p>トレーニングルーム 300万</p> <p>倉庫 200万</p> <p>教育普及活動室 300万</p> <p>ガレージ 100万</p> <p>小ホール 400万</p> <p>総計(2000万円)</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>医師の派遣が要請されているが専門家の派遣が遅れている。ドクターサイドからの技術指導を早期に始めて欲しい。</p> <p>専門家技術指導の場所がカイロとナガハマデー（約600Km離れている）にまたがっていて、頻りに専門家が往復して活動しスムーズにプロジェクトを運営していかざるを得ない状況にある。</p>
相手側の問題点	<p>カウンターパートの配置に時間がかかっている。</p> <p>検診車を稼動するための施設整備が遅れている。</p> <p>実際の検診車稼動にあたって、サポートしていく援護クリニックの整備に対する予算が充分とられていない そのフォローとしては、現地の病院の協力を祈ることになっているが、最低限度の整備をしていく必要がある。</p> <p>首都カイロからはなれているため基盤整備が遅れている（例えば機器代理店が殆どない、連絡手段がよくない等）そのためプロジェクト遂行に時間を要す。</p>

(5) ト ル コ

人口教育促進

項目	専門家チームの要望						備考																																								
	計画	内容																																													
(1) 調査団派遣	評価	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由:プロジェクトは91年11月に終了する					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																																								
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A17.チーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと																																								
		①機材据付け・照明機材		91/8	1ヶ月	未																																									
		②機材据付け・ビデオ機材		91/8	1ヶ月	未																																									
		③教育工学		91/7-91/8	1ヶ月	未																																									
		④家族計画		91/7-91/8	1ヶ月	未																																									
		⑤視聴覚教育		91/9-91/11	2ヶ月	未																																									
		⑥スライド制作(7/8/9/10)		91/10-91/11	2ヶ月	未																																									
		⑦																																													
(3) 供与機材	30,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																													
(4) 携行機材	6,000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>時期</th> <th>金額</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①機材据付け・照明</td> <td>1,000千円</td> <td>91/8</td> <td>⑧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②機材据付け・ビデオ機材</td> <td>1,000千円</td> <td>91/8</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③教育工学</td> <td>1,000千円</td> <td>91/7</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④家族計画</td> <td>1,000千円</td> <td>91/7</td> <td>⑪</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤視聴覚教育</td> <td>1,000千円</td> <td>91/9</td> <td>⑫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥スライド制作</td> <td>1,000千円</td> <td>91/10</td> <td>⑬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							金額	時期	金額	時期	①機材据付け・照明	1,000千円	91/8	⑧		②機材据付け・ビデオ機材	1,000千円	91/8	⑨		③教育工学	1,000千円	91/7	⑩		④家族計画	1,000千円	91/7	⑪		⑤視聴覚教育	1,000千円	91/9	⑫		⑥スライド制作	1,000千円	91/10	⑬		⑦				
	金額	時期	金額	時期																																											
①機材据付け・照明	1,000千円	91/8	⑧																																												
②機材据付け・ビデオ機材	1,000千円	91/8	⑨																																												
③教育工学	1,000千円	91/7	⑩																																												
④家族計画	1,000千円	91/7	⑪																																												
⑤視聴覚教育	1,000千円	91/9	⑫																																												
⑥スライド制作	1,000千円	91/10	⑬																																												
⑦																																															

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 内海 成治	チームリーダー	89/5-91/5	交替を希望	
	② 浦田 俊之	IEC	89/5-91/11		91/11をもってプロジェクトは終了
	③ 石塚 明夫	調整員	89/3-91/11		91/11をもってプロジェクトは終了
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、年3月までに、年度末通 については、年7月末までに、A2-3フ、ーム年取り付けること11)
	早期通報分 名	① 未定	ビデオ制作 (ビデオ)	91/8~92/2	6ヶ月間	沖縄国際センター ビデオコースを希望	
	年度末通報分 名	② 未定	ビデオ制作 (スライド)	91/6~91/10	4ヶ月間	マルチスライド制作に 関する研修	
		③ 未定	ビデオ機器 メンテナンス	91/9~91/12	3ヶ月間	(株)ソニーメンテナ ンスコースを希望	
		④ トムリス・トルメン	家族計画	91/5~91/6	2週間	高級研修員	
		⑤					
		⑥					
		⑦					
		⑧					
		⑨					
		⑩					
⑪							

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	5,000千円を希望	3,500千円	1. ビデオ及びスライド制作にかかる諸費用 2. 現地技術普及セミナーにかかる諸費用	
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	3,000千円を希望	— 円	人口家族計画にかかわるIEC方略につき、ケニア、エジプトの家族計画プロジェクト等と技術交換を実施する。	
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	4,000千円を希望	— 円	人口教育に係るパラメディカル要員に対する視聴覚メディアに関する研修を実施する	
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		トルコ人口教育促進プロジェクト		
	分野	品目	数量	金額(千円)
主 要 機 材 の 概 要	視聴覚 メディア機材	1. 野外撮影用 ビデオカメラ	2	12,000
		2. 地域センター用機材	2式	13,000
		3. ビデオプロジェクター	2	5,000
		輸送費		1,000
		合計		31,000
供与の目的 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性	<p>1. のビデオカメラはコミュニケーションセンターの活動が活発になるに従って必要となる。カメラの導入によりメディア制作の質的・量的充実を図る。</p> <p>2. の地域センターは中央のコミュニケーションセンターを補完し、地域の実情にあったメディア制作を実施する上で必要であり、本プロジェクトの柱の一つである。3. のビデオプロジェクターは研修活動を効果的にするために必要となるものである。</p>			
現地調達可否	(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否			
A47-a取付状況	①一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

プロジェクト名：トルコ人口教育促進プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	野外撮影用ビデオカメラ (ベータカム方式) × 2	12,000千円	ビデオ野外撮影及び 取材		否		
2	地域センター用機材	13,000千円	地域センター用 メディア制作		否		
3	S-VHS方式 一体型カメラ × 2 式						
4	S-VHS方式 編集機 × 2 式						
5	録音機材 × 2 式						
6	スチールカメラ × 2 式						
7	ビデオプロジェクター × 2 式	5,000千円	研修用		否		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専門家派遣計画表

1. 指導科目	メディア制作
2. 派遣期間・時期	長期(2年) 91/4-93/3
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	メディア方略にもとづくメディア制作を実施しあわせて人材の育成にかかわる技術移転を行なう。
4. 先方の希望内容	ビデオ制作のみならずスライド制作、特にマルチスライド制作の指導を希望する。
5. 派遣目的および具体的指導内容	メディア制作の指導。 人口教育促進にかかわるメディア方略にもとづき、テレビ放送用番組・制作、パラメディカル要員研修用及び、住民広報用ビデオ番組、スライドの制作指導。 ビデオではアニメーション制作、スライドではマルチスライド制作を含む。 英語力を必要とする。
6. 必要とされる携行機材・額	ビデオ・スライド用BCM音楽CD等 1,500千円
7. その他備考	プロジェクト期間は91年11月までであるが長期専門家を希望する。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	機材据付け(照明・ビデオ)
2. 派遣期間・時期	各1ヶ月 91年8月~9月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	RDに基づき供与機材の据付け
4. 先方の希望内容	照明及びビデオコピー機の二人の専門家が必要である。
5. 派遣目的および具体的指導内容	照明機材据付 : ビデオスタジオ(100㎡)内への照明機材の据付け・調整及び操作指導 ビデオ機材据付: ビデオコピーシステムの組立調整、操作指導
6. 必要とされる携行機材・額	据付・調整・指導に必要な工具、計器、ソフト等 各 1,000千円 合計 2,000千円
7. その他備考	供与機材、到着時期との関係で派遣時期が変更になる場合がある。 2名必要

専門家派遣計画表

1. 指導科目	教育工学（セミナー講師）
2. 派遣期間・時期	1ヶ月 91年7月～8月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	人口教育に係る保健教育官等の研修のための国内セミナー開催に必要な講師の派遣。
4. 先方の希望内容	教育工学的視点から、人口教育のメディア方略についての理論と実践に関する講義の出来る研究者の派遣を希望。
5. 派遣目的および具体的指導内容	人口教育に係る保健教育官等の研修を目的とするセミナーにおいて教育工学的見地から人口教育におけるメディア方略について講義と質疑応答を行なう。 講義等は英語で行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	講義に必要なビデオソフト、OHPシート等 1,000千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	家族計画（セミナー講師）
2. 派遣期間・時期	1ヶ月 91年7月～8月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	人口教育に係る保健教育官等の研修のための国内セミナー開催に必要な講師の派遣。
4. 先方の希望内容	家族計画運動の国際的な流れよりみたIEC利用に関する講義の出来る研究者の派遣を希望。
5. 派遣目的および具体的指導内容	人口教育に係る保健教育官等の研修を目的とするセミナーにおいて家族計画の見地から人口教育におけるIEC利用について講義と質疑応答を行なう。 なお講義等は英語にて行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	講義に必要なビデオ・スライド・OHPシート等 1,000千円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	視聴覚教育（研修コース講師）
2. 派遣期間・時期	2ヶ月 91年9月～91年11月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	中堅技術者養成対策費によるパラメディカル分野の人材の視聴覚研修に係る講師
4. 先方の希望内容	視聴覚教育理論のみならず具体的なメディア制作上のノウハウ及び評価法に関する講義と実習の出来る専門家を希望。
5. 派遣目的および具体的指導内容	パラメディカル分野の人材に対する視聴覚メディア研修講師、視聴覚教育理論の講義、ビデオ・スライド等のメディア制作実習アドバイス、メディア評価に関する講義と実習指導、講義等は英語で実施する。
6. 必要とされる携行機材・額	講義実習指導に必要な教材等 1,000千円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	スライド制作（マルチスライド制作）
2. 派遣期間・時期	2ヶ月 91年10月～11月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	メディア方略に係るメディア制作のうちスライド制作に関する技術移転。
4. 先方の希望内容	マルチスライド制作全般に係る技術移転。
5. 派遣目的および具体的指導内容	既に供与されているマルチスライド機材を使用してマルチスライドの企画・制作・上映にかかる技術指導及びアドバイスをこなう。
6. 必要とされる携行機材・額	マルチスライドの企画・制作・上映を指導するのに必要なテキスト・ソフト・パーツ等 1,000千円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地業務費臨時支給分
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	<p>1. コミュニケーションセンターの設立にともないメディア方略に基づくメディア制作を実施する段階に入った。相手国側にはメディア制作に必要な各経費（ロケ費、ナレーター、出演者費用、等）を負担する予算が乏しいため申請する。</p> <p>2. 現地セミナーを開催し、人口教育におけるIEC方略について関係者の理解を深める。</p>
3. 計画・経費	<p>1. ビデオ及びスライド制作 10本×350千円=3,500千円</p> <p>2. セミナー開催費 1,500千円</p> <p>総計(5,000千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術交換費
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	<p>人口家族計画プロジェクトの中でIECを柱の一つとしているプロジェクトには本プロジェクトの外にエジプト及びケニアがある。このプロジェクト間でこれまでの経験及び方略等について、情報交換、技術交換することはそれぞれのプロジェクト遂行上大きな意味がある。</p>
3. 計画・経費	<p>ケニアで実施するとして</p> <p>旅費 500千円×4=2,000千円</p> <p>資料等 1,000千円</p> <p>計 3,000千円</p> <p>総計(3,000千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	中堅技術者養成対策費
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	各県の人口家族計画教育の中心となっている保健教育官・医師・助産婦等のコミュニケーション能力の向上を図るための視聴覚教育研修を実施する。
3. 計画・経費	人口家族計画重点地区28県の保健教育官等を中心に3回に分けて4週間の視聴覚教育研修を実施する。 1回の開催に必要な経費2,000千円 2,000千円×3=6,000千円 うち日本側負担分 4,000千円 総計(4,000千円)

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
1. プロジェクト期間について	本プロジェクトの期間は3年間であるが、専門家が派遣されて2年半でプロジェクトが終了する。当初、3年になった経緯は、第1フェーズとして考えるということであった。その意味は、延長することが含まれているはずである。しかし、プロジェクト発足当時のJICA本部担当者が、すべて異動するなかで第1フェーズの意味が失われ、他のプロジェクト同様、終了前6カ月になって評価ミッションを出してその結果によって延長については考えることになった。これではプロジェクトが3年で終了するのを前提にした活動が期待されることとなり、当初のプロジェクトの意味づけが失われている。家族計画プロジェクトが3年で可能であろうか。通常の5年ないしはそれ以上の期間にするべきであろう。

(6) ケ ニ ア

人口教育促進

平成 3年度年間計画

ANNUAL WORK PLAN

プロジェクト名 ケニア人口教育促進プロジェクト

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) ビデオ教材制作 平成3年度は主に2本のビデオ教材を制作することに力を注ぐ事とする。 (プログラム内容に関しては別紙参照) 2) 教材の普及・活用 教材はビデオを中心としたマルチメディア教材を制作し、セミナー等の開催により普及活動を行なう予定である。	91/4	← (サブ・プログラム3) →				91/7	← (サブ・P 4) →				91/10	
調査団の派遣	評価	---											
専門家の派遣	長期専門家(分野、氏名等) 1) チーム・リーダー (佐藤) 2) IEC制作 (田口) 3) 業務調整 (生田) 4) 地域開発 (山森)	91/4	→								91/12		
		91/4	→								91/12		
		91/4	→								91/12		
		91/4	→								91/12		
	短期専門家(分野、氏名等) 1) ビデオ技術制作 (沖縄国際センター) 2) IEC制作 3) 栄養指導 (足立己幸)	91/5 → 91/7				91/9 → 91/12				← 91/10			
研修員	(分野、氏名等) 1) ビデオ技術制作 (Mr. ムバカ) 2) ビデオ技術 (Mr. カベリ) 3) F P行政 (Mr. キチャム) 4) F P行政 (Mr. ニャンパティ)	91/5	→				91/7	91/6 → 91/7				91/8	← 91/9
供与機材		▲ 仕様書提出						▲ 現地着希望					
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	1) 現地業務費臨時支給分 2) 技術普及広報費 3) 中堅技術者養成費	▲ 申請書提出			▲ 申請書提出			▲ 申請書提出			▲ 事業実施		

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(1) 調 査 団 派 遣	7月頃を希望	調査団の種類（評価） 理由：プロジェクト終了が12月であるため。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと
(2) 短 期 専 門 家 派 遣	3 名を希望	分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと
		①ビデオ技術制作	沖縄国際センター	1991.5-7	3ヶ月		
		②IEC制作		1991.9-12	4ヶ月		
		③栄養指導	足立 己幸	1991.10	1ヶ月		
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
		⑧					
(3) 供 与 機 材	32,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携 行 機 材	1,500千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと					
		①ビデオ技術	¥600,000 (モニター等)			5月	
		②IEC制作	¥500,000 (ビデオ制作機、コンピュータ等)			9月	
		③栄養指導	¥400,000 (栄養指導教材)			10月	
		④					
		⑤					

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①佐藤 都喜子	人口学（リーダー）	1990.11- 1991.12		
	②田口 明男	IEC制作	1989.4- 1991.12		
	③生田 祐子	業務調整	1989.3- 1991.12		
	④山森 正巳	地域開発	1990.11- 1991.12		
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望						備考					
	計画	内容										
(6) カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	A2-3フォーム取付状況	(早期通報分については、平成2年3月までに、年度末通報分については、平成2年7月までに、A2-3フォームを取り付けること!!)					
	早期通報分 4名							① Mr.ムバカ	ビデオ・オペレーター	1991.5-7	3ヵ月	1991年初頭に可能
	年度末通報分 0名							② Mr.カベリ	ビデオ技術	1991.5-7	3ヵ月	1991年初頭に可能
								③ Mr.キチャム	FP行政	1991.6-7	2ヵ月	1991年初頭に可能
								④ Mr.ニャンバティ	FP行政	1991.8-9	2ヵ月	1991年初頭に可能
								⑤				
								⑥				
								⑦				
								⑧				
								⑨				
								⑩				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	4,280千円を希望	2,547,623 円	1)域内旅費 2)公用車車両保険料 3)公用車車両運転手備人費 4)ビデオ教材製作費(調査費、撮影旅費、撮影雑費等)	
②技術普及広報費	3,000千円を希望	1,530,100 円	1)パンフレット、カレンダー等制作費	
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	3,300千円を希望	円	1)研修参加旅費 2)教材費 3)研修資材費 4)特別講師謝金 5)指導同行旅費	
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	15,165,000円		
⑧現地研究費	3,000千円を希望	.	1)調査費	
<p>(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと) ビデオ教材制作、ならびにパイロット地区におけるビデオを中心としたマルチメディア教材普及に当たり、「現地業務費臨時支給」とは別に「視聴覚教材制作費」、「域内旅費」がそれぞれ設定されれば適切であると思われる。</p> <p>従来の貧困国対策費が申請ベースとなる場合は、他に年間 120万円程度申請予定。</p>				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ケニア人口教育促進プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品 目	数量	金額 (千円)
		教材制作、	1) 教材制作用機材 (アニメーション制作等)	
広報宣伝、		2) コンピュータ (周辺機器含む)	2	6,000 千円
研修用		3) 液晶ビデオプロジェクター (小型PA装置含む)	3	4,000 千円
機材		4) 研修、普及用機材 (FPキット, 模型)		4,000 千円
		輸送費		3,000 千円
		合計		32,000 千円
供与の目的	<p>全体計画では1990年はビデオ教材制作、1991年は教材制作も行なうが特に普及活動を中心に行なう事になっている。平成2年度予算までの機材ではほぼビデオを中心としたIEC制作の機材、地域普及用のビデオ・TVセットは一部を除いて揃う。平成3年度も実質的にビデオ教材制作に開始するが、同時にビデオ教材を使用した普及活動をパイロット地区で行っていく予定である。そのため普及、活用に関する機材を中心に考えた。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性 				
現地調達可否	(1) 可 (コンピュータ) (2) ◆否			
A470-A取付状況	(1) 一括取付済 (2) 3年4月取付予定			

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	ビデオ技術制作
2. 派遣期間・時期	1991年5月～7月(3か月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当プロジェクトの計画に於て、平成3年度も引き続きビデオ教材制作を行う事になっている。 機材の円滑な利用に関し、ビデオ技術制作者は必要である。
4. 先方の希望内容	当該分野専門家を要請している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	現在着任しているIEC制作専門家はビデオ制作中心であり、技術に関して特に優れた専門家を要望している。 具体的には、ビデオ編集及び音声録音、編集等のスタジオ・オペレーション作業が中心になる。
6. 必要とされる携行機材・額	ビデオカメラ、モニター、ビデオテープ 600 千円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	IEC制作
2. 派遣期間・時期	1991年9月～12月(4か月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	この派遣要請は、プロジェクトの延長を見越してのものであるが、現在着任している専門家の任期満了に伴う後任のオーバーラップ期間である。
4. 先方の希望内容	IEC制作は、今後も引き続き行っていく予定であり、専門家の交代に関しては、引き継ぎ期間を十分取ってほしい。
5. 派遣目的および具体的指導内容	3. に記したように、当プロジェクトの延長を見越しての事であるが、現在のビデオを中心とした教材作りを継続する場合、IEC制作専門家の十分な引き継ぎが必要である。 指導内容は、現IEC制作専門家と同様である。 また、特にビデオ制作の経験豊富な専門家を希望する。
6. 必要とされる携行機材・額	教材制作用ビデオテープ等 500 千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	栄養指導
2. 派遣期間・時期	1991年10月 (1ヵ月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	TSIにおけるビデオ教材の普及活動として家族計画に関するセミナー開催がある。母親・乳幼児向け栄養指導は家族計画教育の中で重要なテーマである。
4. 先方の希望内容	ローカル地域の食生活問題点を的確に把握でき、かつ体系的な栄養指導ができる専門家。
5. 派遣目的および具体的指導内容	パイロット地区で開催されるセミナーの講師としてローカルな食事内容を考慮した母親・乳幼児向けの栄養指導を、ビデオなどの教材を効果的に使いながら、行なってほしい。
6. 必要とされる携行機材・額	栄養指導教材一式 400千円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地業務費臨時支給分
2. 目的:	<p>本プロジェクトはビデオ教材を基幹メディアとしており、その制作費は出張旅費も含めかなりの額になる。また、1991年からパイロット地区で制作ビデオの普及活動を開始する予定であり、その出張旅費も相当な額となる。本プロジェクトのカウンターパート機関は外国援助を中心に運営されているいわゆる「援助の窓口」であり本プロジェクトに費やす資金を持っていない。このためプロジェクトの協力目標達成は我方で制作費、出張旅費を負担しなければ困難である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 ・ 緊急性 ・ 先方が負担できない理由 ・ 効果
3. 計画・経費	<p>1) 域内旅費 (普及活動関係) 1,050,000 円 パイロット地区における普及活動のための専門家出張は1ヵ月当たり15日程度を予定しているので以下の計算になる。 日当・宿泊 800Ksh×15(日)×12(月)=144,000Ksh 燃料費1200Km/6KmpL×15KshpL×12(月)=36,000Ksh 144,000+36,000= (約108万円)</p> <p>2) 公用車車両保険料 300,000 円 現在2台の車両をプロジェクトで使用しているが、撮影その他の便宜上JICAケニア事務所登録している。このため保険料を現地業務費で負担しなければならない。昨年の実績では1台約25,000Kshである。 25,000×2(台)=50,000Ksh(約30万円)</p> <p>3) 公用車車両運転手備人費 500,000 円 3,500Ksh×12(月)×2(人)=84,000Ksh(約50万円)</p> <p>4) ビデオ教材制作費 2,400,000 円 1本当たり(調査費、撮影旅費、撮影雑費、謝金等) 200,000Ksh×2(本)=400,000Ksh(約240万円)</p> <p style="text-align: right;">総計(約¥4,280,000)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術普及広報費
2. 目的: ・ 必要性 ・ 緊急性 ・ 先方が負担できない理由 ・ 効果	本プロジェクトはビデオ教材を基幹メディアとする。しかしながらケニアにおいてはこの種の教材は余り使われていない。したがって、プロジェクトの活動などを紹介したパンフレット、カレンダーを作成し、ビデオ教材の普及広報を積極的に推し進める必要がある。
3. 計画・経費	<p>1) パンフレット 10Kshx10,000(部)=100,000Ksh(約600,000円)</p> <p>2) カレンダー 20Kshx20,000(部)=400,000Ksh(約2,400,000円)</p> <p style="text-align: right;">総計(¥3,000,000)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	中堅技術者養成対策費
2. 目的: ・ 必要性 ・ 緊急性 ・ 先方が負担できない理由 ・ 効果	パイロット地区NGOおよび教会のコミュニティー活動に従事する中堅技術者たちはIEC活動の要である。制作されたビデオを使用し、DPO、NGOが中心となったパイロット地区での中堅技術者を対象としたセミナーを我方の負担でパイロット地区で各3回開催することにより、自己資金のないDPOを支援し、同時にビデオの有効性の評価を行なうことができる。また全国レベルにおいてもカウンターパート機関とともに中堅技術者を対象としたセミナーを企画し、カウンターパート機関の機能強化支援としたい。
3. 計画・経費	<p>パイロット地区レベル：参加人数30名 日数 2日 1回当たり49,900Kshx 6(回)=299,400Ksh(約150万円) 1回当たり内訳</p> <p>1) 研修参加旅費(一泊二日) 日当・宿泊 600Ksh x 30(人)=18,000Ksh 交通費 100Ksh x 30(人)=3,000Ksh</p> <p>2) 教材費 テキスト 200Ksh x 35(人)=7,000Ksh 視聴覚教材費 300Ksh x 35(人)=10,500Ksh</p> <p>3) 研修資材費 文房具 100Ksh x 35(人)=3,500Ksh アルバム 300Ksh x 3(冊)=900Ksh</p> <p>4) 特別講師謝金 800Ksh x 3(人)=2,400Ksh</p> <p>5) 指導同行旅費(一泊二日) 日当・旅費 800Ksh x 2(人)=1,600Ksh 燃料費 1,200Km/6Kmpl x 15Kshpl=3,000Ksh</p> <p>全国レベル：参加人数100名 3日間 開催費 150万円</p> <p style="text-align: right;">総計(¥3,300,000)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地研究費
2. 目的: ・ 必要性 ・ 緊急性 ・ 先方が負担できない理由 ・ 効果	<p>本プロジェクト終了時の評価を考える際、また制作ビデオ教材等の普及がなされていない現時点で、人口・健康調査ならびに生活環境の衛生調査を、選定したモデル村・コントロール村で実施し、プロジェクトの評価指標となる基礎的資料を入手しておく必要がある。これは、プロジェクト評価のための調査であり、プロジェクト運営から独立したものであるため、カウンターパートから経費負担は期待できない。</p> <p>将来的には、プロジェクト終了時近くに、モデル村・コントロール村における家族計画への姿勢・行動また生活環境の変容を測定し、教材の質も含めた教材普及効果を測定する予定である。</p>
3. 計画・経費	<p>計画：モデル村（100 世帯程度）全世帯調査 コントロール村（100 世帯程度）全世帯調査 調査員の人数は、モデル村、コントロール村各5名（合計10名）。 調査項目は、人口調査、健康状況調査ならびに飲料水の水質検査を含む生活環境の衛生調査。</p> <p>経費：調査費（調査員調査訓練費、調査員日当宿泊、謝金、燃料費、調査雑費他） 500,000Ksh (約300万円)</p> <p style="text-align: right;">総計 (約¥3,000,000円)</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
予算措置	<p>本プロジェクトのカウンターパート機関は、外国援助を中心に運営されているいわゆる「援助の窓口」であるので、自己資金をほとんど持たない。またプロジェクト・サイトは本来マス・コミュニケーション分野の研修機関であり、制作機関ではないので教材開発のための予算措置をとることが事実上不可能である。このため、本プロジェクトにおいては、やむをえない措置として、ローカルコスト負担事業によって協力活動を行なう必要があると考えられる。</p>

(7) ペル

家族計画・母子保健

		1991年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
目標	1)母子保健の資質の向上 2)母子保健事業・診療部門の資質の向上	1) 母子保健の資質の向上 1-1 現行保健プログラムの強化 ・思春期女子教育、破傷風トイロ 1-2 住民参加の衛生教育普及 ・地域リーダー・ヘルプラーの研修 1-3 周産期死亡の減少、異常発見 ・産後の登録、訓練						2)母子保健事業・診療部門の向上 2-1 妊婦、乳幼児の看護と診療技術 ・医師、看護婦研修 2-2 妊婦検診と乳幼児検診のポイント、一般的な疾患の処置 ・看護助手研修 2-3 衛生教育の教授方法 ・IEC 研修(病院職員対象) 2-4 紹介状の確立						
調査団の派遣	計画打ち合わせ	91/11・1W —												
専門家の派遣	長期専門家(分野、氏名) 1)業務調整(七) 2)母子保健(大島) 3)チームリーダー(未定) 4)家族計画(未定)	90/3											92/3	
	短期専門家(分野、氏名) 1)超音波診断(医師) 2)超音波診断(技師) 3)NICU呼吸管理(医師) 4)NICU看護(看護婦) 5)IEC 6)IEC	90/5											92/5	
研修員	(分野、氏名) 1)衛生行政(DR. ARCA) 2)衛生行政(DR. VILLAR) 3)母子保健(NS. LEIVA) 4)母子保健(DR. VILLANUEVA) 5)家族計画(MID. VILLAR) 6)母子保健(NS. FLOR RIOS)	91/5・2W											92/3・2W	
		91/5・2W	91/6	91/7	91/6	91/7	91/9・1W	91/9・1W	91/10	91/10	91/12	91/12	92/3・2W	92/3・2W
供与機材		▲ 91/1 仕様書提出						▲ 現地調査希望						
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	1)現地業務費臨時支給分 2)技術普及広報費 3)現地セミナー開催費 4)技術交換費 5)中堅技術者養成対策費 6)プロジェクト基盤整備費	▲ 申請書提出	▲ 実施					▲ 申請書提出	▲ 実施					
		▲ 申請書提出	▲ 申請書提出	▲ 申請書提出	▲ 申請書提出	▲ 申請書提出	▲ 申請書提出	▲ 申請書提出	▲ コース実施	▲ コース実施	▲ コース実施	▲ コース実施	▲ 契約	▲ 工事

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(1) 調査団派遣	1991年11月希望	調査団の種類(計画及び打ち合わせミッション機材修理チーム) 理由:計画及び打ち合わせミッションの派遣要請。シンポジウムや機材の選定等についてペルー国保健省及びプロジェクト委員会と検討の必要がある					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと
(2) 短期専門家派遣		分 野	候補者があぬ氏の氏名	派遣期間	期間	ALフォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと
		① NICU 診療技術(蘇生術)	1名	1991年6月	1ヶ月	平成3年2月取付予定	
		② NICU 看護技術	1名	1991年6月	1ヶ月	同上	
		③超音波診断(機械管理)	2名	1991年5月	2週間	同上	
		④IEC	2名	1991年9月	2週間	同上	
		⑤					
		⑥					
(3) 供与機材	79,547千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携行機材	3,435千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと					
			金額	時期		金額	時期
		① NICU 診療技術	570千円	1991年6月	⑥		
		② NICU 看護	200千円	1991年6月	⑦		
		③超音波診断	995千円	1991年5月	⑧		
		④IEC	1,017千円	1991年9月	⑨		
		⑤調査団	653千円	1991年11月	⑩		
					⑪		
					⑫		
					⑬		
					⑭		

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：ペルー国家族計画・母子保健

医療協力部

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指導分野	派遣期間	交代・延長の要望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 北 重文	業務調整	1990.3.5 ~ 1992.3.4迄	未決定	③ ④ の専門家は 長期派遣が不可能なら、短 期派遣でも構わない
	② 大島 英子	母子保健	1990.5.28 ~ 1992.5.27迄	延長なし、交代希望	
	③	チームリーダー	時期は専門家に 一任する		
	④	家族計画	時期は専門家に 一任する		
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名: ベル-国家族計画・母子保健

医療協力部

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望					備 考
	計 画	内 容				
カウンターパート受け入れ	6 名を希望	候補者名	分野	受け入れ希望時期	期間	
	早期通報分 3名	① MARGARITA JESUS LEIVA TITO	母子保健	1991 年 10 月	2 ヶ月	マリア・アウキシリアドーラ 支援病院看護婦カウンターパート
	年度末通報分 3名	② CARLOS ALBERTO VILLANUEVA RODRIGUEZ	母子保健 小児診療	1991 年 10 月	2 ヶ月	マリア・アウキシリアドーラ 支援病院小児科医師
		③ RCSA VILLAR VILLEGAS	家族計画	1992 年 3 月	2 ヶ月	リマ南部 UDES 家族計画コーディネーター 助産婦
		④ FLOR RIOS TRINIDAD	母子保健	1992 年 3 月	2 ヶ月	サン・ホセ母子病院 看護婦
		⑤ MIGUEL ARCA	衛生行政	1991 年 5 月	2週間	リマ南部 UDES 所長 医師
		⑥ ENGENIO VILJAR MONTESINCS	衛生行政	1991 年 5 月	2週間	保健省国外協力部長

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：ペルー国家族計画・母子保健

医療協力部

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望		備 考
	計 画	2 年度実績	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)
①現地業務費臨時支給分	480 千円を希望	0 円	コミュニティ参加のイベントは休日開催。従って運転手・視聴覚技術者の時間外手当、燃料費負担、消耗品・事務用品の高騰部分の補填を行う。
②技術普及広報費	1,000 千円を希望	0 円	コミュニティを対象に、家族計画・保健衛生に関する正しい知識や情報を、パンフレット、ポスター、映画にて広報せめる計画。そのための経費を負担。
③現地セミナー開催費	500 千円を希望	0 円	年1回9月頃国内で家族計画・母子保健に関するセミナー開催予定。参加者の旅費交通費、製本印刷費、視聴覚教材、資料の作成費、消耗品費、会場借料、機材器具借料、講師謝金等を負担。
④技術交換費	800 千円を希望	0 円	当プロジェクトのスタッフ2名を中南米の関係あるプロジェクトに派遣するための旅費・現地活動費を負担。内容は技術協力の成果の視察、技術体系の研究、現在抱えている問題解決のための対策の検討。
⑤応急対策費	0 千円を希望	0 円	無し
⑥中堅技術者養成対策	2,500千円を希望	1,126,000 円	年間8回の講習会、セミナー等を通じてモデル地域で保健医療業務に従事する医師看護婦・助産婦等に技術移転を普及する計画であり、教材・燃料・交通費・講師謝金に充てる。
⑦プロジェクト基盤整備費	25,000千円を希望	17,000,000 円	モデル地区内のビジャ・マリア・トリンホの入院施設の増築。又UDESから協力依頼があったカニエーテ市のレンソラ支援病院は、カニエーテ周辺の中核病院となる病院であり入院施設は不十分で拡充は必要と思われる。現在地域住民の助力で増築しているが、資金不足で工事は中断している。今後このプロジェクトを拡大する際の重要起点となりえる病院である。ペルーの経済的困窮は長引くことが予想されるところ、外国の強力な支援が要望される。
(8) 予算新規項目:(プロジェクトの円滑な運営を図るうえで必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)			
プロジェクト実施対策費：プロジェクトとモデル地区の8関連病院が行う保健医療のイベント等を実施するのに必要な経費。(1日検査室の例:検査室の無い病院に			
マリア・アウキシリアドーラ病院から検査科チームと、小児科・産婦人科・視聴覚チームが出張して、関連病院と協力して治療から予防教育まで1度に実施。ハイリスク妊産婦・乳幼児の発見ばかりでなく、予防保健のプログラムの普及度や職員の技術程度が把握できる。) 各医療施設はその経費負担が困難なところ、協力活動の推進・			
技術移転のための支出を負担する経費。 \$500 x 8 回 x 135円=540,000円			

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ペルー国家族計画・母子保健		
主 要 機 材 の 概 要	分野	品目	数量	金額(千円)
		母子病院 HAMA	消毒器、車両、検査科機材、 視聴覚機材他	36
	産婦人科	オートクレブ他	3	565
	新生児科	耳鏡セット他	5	551
	小児科	人工呼吸器他	3	790
	プロジェクト	視聴覚機材他	4	2,063
	検査科	蒸留水製造機他	7	4,683
	救急棟	血圧計他	23	10,314
		輸送費		5,533
		合計		69,870
供与の目的		母子保健サービスの向上と紹介システム強化 更に適正な診断治療技術移転を目指す。		
・全体計画における位置付け		F/Pと母子保健の関係は、後者の向上により得られる利点特に周産期死亡率、乳児死亡率の低下が前者に目を向ける余裕・動機を与える。それが故に、母子保健の強化のために医療機器の整備を行う必要がある。		
・今回供与の主眼点		主眼点 地域住民が2次医療機関の母子病院で定期的・確実に妊婦検診、乳児検診が受けられる体制を確立する。それゆえに、基本的な検査が出来るように臨床検査室を整える。又簡易医療機器の供与で、診療の向上を図る。更に母子病院を予防保健活動の中心として位置付け、車両・視聴覚機材の供与により、住民へ衛生教育(F/P含)の啓蒙活動を浸透させ、地域住民リーダーの育成やボランティア組織の強化を図る。		
・技術移転上の役割		HAMAは母子病院からの紹介・救急患者の受け入れ体制を整え、地域病院の医師・看護婦の研修機関として機能できるように、機材を供与する。		
・緊急性				
現地調達可否		(1) 可(一部機器は可能) (2) 否		
A4.7+取付状況		(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定		

専門家派遣計画表

1. 指導科目	巡回指導調査
2. 派遣期間・時期	1週間(1991年11月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	TSIにあり
4. 先方の希望内容	・調査団員4名(団長1名、母子保健専門家2名、業務調整員1名)
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当初目標と比較し、プロジェクトの進捗状況を把握 ・プロジェクトの運営管理の適性度を把握 ・具体的計画立案(全体)の検討・助言 ・中堅技術者養成(次年度) ・供与機材(次年度) ・衛生統計の報告(1990年度実施) ・シンポジウムの提案(次年度) ・その他問題点
6. 必要とされる携行機材・額	コンピューター1台。衛生統計の報告書他。 653,000円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	超音波診断コース
2. 派遣期間・時期	2週間 (1991年5月)
3. 当初計画 (TST) と全体計画での位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・短期専門家派遣計画があるが、分野の記載無し ・1990年度に派遣要請済み
4. 先方の希望内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家2名(医師1名、技術者1名) ・超音波診断演習は2ヶ所で各5日間実施 (HAMA と首都圏の1病院) ・機械の機能・操作・管理から診断そして生検技術迄取得希望。 ・技術者(操作時の注意点・修理)養成
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供与機材の効果的な使用方法の取得 ・母子診療技術レベルの向上 ・ハイリスク妊産婦、新生児の発見 <p>対象:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HAMA とモデル地区母子病院と首都圏関連病院の産婦人科医・小児科医と一般医師 <p>内容:</p> <p>1 基礎コース:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1 期間:3日間、対象:初心者25名 1-2 形式:演習 1-3 機能原理、操作、検査法、診断、管理、修理 <p>2 アドバンスコース:</p> <ul style="list-style-type: none"> 2-1 期間:2日間、対象:既知者 2-2 新生児科、産婦人科分野 2-2 検査(経腔式プローブ、頭蓋血腫等)
6. 必要とされる携行機材・額	<p>体腔内プローブ(経腔式)1セット、ビデオVHS同種5本(操作、検査診断の説明、英語又は西語)、テキストブック60冊(西語)、他は専門家に依頼。 995,000円</p>
7. その他備考	<ul style="list-style-type: none"> ・機種:ALOKA SSD/630、現地医師同行 ・英文テキストの場合は以前に送付希望、現地で西文訳可能。ビデオVHS訳は不明 ・A1フォーム送付済み(1990年度)

専門家派遣計画表

1. 指導科目	NICU(新生児診療)
2. 派遣期間・時期	1カ月(1991年6月)
3. 当初計画 (TST) と全体計画での位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・1990年度に派遣要請済み
4. 先方の希望内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児(NICU)専門医師1名 ・HAMAとMATERNIDAD LIMA,SAN BARTOLOMEで、呼吸管理を中心に演習と実地指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供与機材の正しい使用方法と管理 ・ハイリスク新生児診療・管理 <p>対象:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児病棟の医師と看護婦 <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸管理-蘇生(マスクバック法、気管内挿管、呼吸器装着時) ・供与機材の使用・管理(人工蘇生器、モニター等) ・その他の新生児診療技術一般、専門家に一任 <p>指導方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルやビデオ使用、上述の他に講習も含む
6. 必要とされる携行機材・額	<p>・教材(ビデオVHS-西語、蘇生練習のモデル KISS MODEL M11 TYPEA 1セット、挿管モデル KISS MODEL M9 1セット) アンビュバック 透明マスク、酸素ヘッドボックスOX-900、アトム酸素濃度計OX-30(電池付) 570,000円</p>
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	N I C U (新生児看護管理)
2. 派遣期間・時期	1 カ月 (1991年6月)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・短期専門家派遣計画はあるが、分野の記載無し ・1990年度に派遣要請済み
4. 先方の希望内容	・新生児専門看護婦 1 名 ・HAWA、モデル地区母子病院と首都圏の機材供与病院 (MATERNIDAD LIMA, SAN BARTOLOME) で演習と実地指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的: ・供与機材の正しい使用方法と管理 ・新生児看護技術の向上 ・ハイリスク新生児の看護 対象: ・HAWA, MATERNIDAD LIMA—看護婦 ・モデル地区母子病院—看護婦、看護助手 内容: 1 モデル地区母子病院 (VILLA MARIA等): 1-1 清潔 (水不足時)、保温、蘇生 1-2 異常児のチェックポイント 1-3 紹介病院への搬送時の看護・記録 2 HAWA 他首都圏の病院の新生児病棟 2-1 供与機材の使用・管理 (人工蘇生機、光療法ユニット、保育器、モニター他) 2-2 輸液管理、呼吸管理、固定 (光療法時) 2-3 感染児の看護、保育器の消毒、その他
6. 必要とされる携行機材・額	・ビデオ VHS (新生児看護のポイント、保育器等の取扱い・消毒等) ・アトムネオシルバー (CW-5802) 2箱 200,000円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	I E C 技術研修
2. 派遣期間・時期	・1 週間 (1991年9月)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・短期専門家派遣計画はあるが、分野の記載無し
4. 先方の希望内容	・I E C 専門家 2 名 ・HAWA と母子病院 MANUEL BARRETO で演習 (各 2 日間の講習)
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的: ・視聴覚教材を使用して、効果的な衛生教育の教授方法を学ぶ。教材作成技術の取得 ・衛生教育、家族計画の普及活動の促進 対象: ・病院職員 (各コース 50 名) 内容: ・プレゼンテーション ・OHP の活用 ・原稿作成技術、TP 作成技 ・供与機材の取扱い・管理 (ビデオ他) ・その他は専門家に一任
6. 必要とされる携行機材・額	カラーファックスモデル 45 1 台 ORP 講習の為の材料 (TP フィルム各種 カラーシート各種、油性・水性マジック、 文字・図案モデル その他必要物品) ビデオカメラ 1 台 1,017,000円
7. その他備考	HAWA に視聴覚チームあり。

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ペルー国家族計画・母子保健プロジェクト	
2. 目的： ・ 必要性 ・ 先方が負担できない理由	<p>経済状態が悪化する中で政府は、診療・治療費を低額に抑えている。その結果病院の収入は殆ど無く、人件費を含む経費の70%は国庫に依存している。このため保健省・国立病院は緊縮財政を強いられ、業務費は殆ど無い状況で車両の修理すら出来ない状況にある。その上プロジェクトの地域住民参加の活動は、休日を中心となるので、スタッフの時間外業務量が増大する。皮肉にも活動が盛んになると、それだけペルー側の燃料費等の負担額も増える。現財政状況で相手国にこれ以上の負担額を課すのは、今後のプロジェクトへの協力・関心を失う恐れがある。最低必要な資金を援助国側が負担することで既述の問題は解決され、プロジェクトも円滑に運営されるであろう。</p>	
3. 計画・経費	(単位=円)	
	区 分	平成3年度計画
	1 一般現地業務費	480,000
	2 現地研究費	1,200,000
	3 貧困国対策費	1,200,000
	4 技術普及広報費	1,200,000
	5 中技養成対策費	2,500,000
	6 プロ基礎整備費	25,000,000
	合 計	31,580,000

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
TSIが具体性に欠ける	チームリーダー派遣により、少なくとも2年後までの具体的な業務計画(戦略)を作成する必要あり。専門家を任後に同年度の計画作成に取り掛かると既に遅く、予算の確保や短期専門家の派遣が遅れ業務が計画どおりに進まない。加ナパート研修等の派遣でも時間が無く、ペルー側の関係者と十分に検討出来ないままに決定となりがちである。
70%外関連の母子病院の行政管轄がIDESである	実際の活動の中心はHAMAであるが、母子病院がIDESの管轄下にある。しかし実際には70%外の運営計画はIDESとの調整無くHAMAのチームと母子病院間で行われて来た。今後円滑に活動を進める為にIDESの家族計画、母子保健担当官の参画が必要である。又他援助機関におけるIDESの役割も学ぶ必要がある。
ペルー側のローカルコスト負担の限度	70%外の効果的な運営には、JICAのローカルコスト負担増額が必要に思われる。 ①一般現地業務費の限度料引上げ ②貧困国対策費の適用 ③技術普及広報費の配布 ④現地技術開発費適用 ⑤技術交換費の利用 ⑥70%外基礎整備費の配布 ⑦家族計画70%外実施対策費の新設
行政機関において研修等の書類の手続きが期限に間に合わない	出来るだけ速やかに、書類の作成(A1フォーム等) 準備が必要。年間計画(次年度)は9月までに作成したい。
他国際援助機関の多くが現地スタッフに顧問料との名目で報酬を支払っている	受容者は他の70%外に関与したがらず、これがその地区内の活動に支障を生じている。又各種の70%外が独立独歩の状況で、統合して母子保健の問題に取り組む姿勢に欠ける。ある程度の報酬はスタッフの労働意欲を得るためには必要かもしれないが、関心は個人レベルに止まり、自発的な地域住民の70%外に発展するかは疑問である。とは言えひどい経済状況の中で、無報酬で時間外労働まで強いるのは無理なようである。

